



健康応援隊!

2006年のわが国のがんによる死亡の割合は全体の約30%を占めており死因の第1位を占めています。部位別では、下記のように男性では、肺がん、女性では、大腸がんが最も多いです。

部位別に見た死亡率（人口10万対）

	女性		男性	
1位	大腸	28.9	肺	74.6
2位	胃	27.4	胃	53.2
3位	肺	26.8	肝臓	36.7
4位	乳	17.3	大腸	36.4
5位	肝臓	17.2	膵臓	20.4

がんについて

人の体はたくさんの細胞からできていますが、この細胞にいろいろな発がん作用が加わり、がん細胞に変化します。がん細胞には、成長の早いものと遅

いものがありますが、そのままにしておくとどんどん増えつづけます。そして、隣の組織や臓器までに入り込んで増えたり、離れた臓器に飛び火し、転移する性質があります。

がんの自覚症状は、病気が相当進まないといわれない場合がかなりあるので、早期発見、早期治療のための定期検診が大切です。

がん検診

今年も、町では7月からがん検診を実施します。

検診を受けた後は、結果を確認しましょう。がん検診の結果は「異常認めず」「要指導」「要精密」の3種類に大別されます。「要精密」は疾病があるかどうか詳しい検査が必要という意味で必ずしも病気があるとは限りません。必ず医療機関で精密検査を受けるようお願いします。

(健康福祉課 保健師)



地域包括支援センターだより

「65歳以上のみなさんへ

生活機能評価が始まります」

平成20年度から、医療制度改革が行われ、「生活機能評価」が実施されます。

「生活機能評価」は、体や心の働きに衰えはないか、日常生活の低下がないかを確認するものです。

65歳以上の方が対象となります。(ただし、要支援・要介護の認定を受けている方は対象となりません) 事前に配布してある「生活機能評価問診票」の25項目に回答していただき、その結果に基づき、必要な健診や教室等についてご案内します。

また、お手元に「生活機能評価問診票」がある方は、6月20日(金)までに、地域包括支援センターまで提出をお願いします。

いつまでも元気に過ごすために「生活機能評価」を受けましょう!

<生活機能評価のながれ>

①生活機能のチェック

対象者：65歳以上の方

内容：「生活機能評価問診票」に回答してください。

②地域包括支援センターでの内容を確認・判定

③生活機能検査

対象者：「生活機能評価問診票」の結果、介護予防事業への参加候補者と判定された方。

内容：地域包括支援センターから「生活機能検査」の受診券が送付されます。受診券などを持参し、「生活機能検査を受診してください。

<生活機能評価に関するお問い合わせ>

地域包括支援センター(健康福祉課内) (84) 0006

お待ちしております

ご意見・ご要望をお待ちしています。

あて先 ●町長(直通)

☎(84) 1550

●企画財政課広報担当

☎(84) 1111(内線221)

6月の納税

町県民税 1期 町民税務課 税務G 内線252

保育料 6月分 健康福祉課 社会福祉G 内線237

学校給食費 3期 教育委員会 学校教育G (84)1460

※納期限は6月30日です

一納付に便利な口座振替をご利用ください

人口と世帯 (5月1日現在)

総人口 9,766人(-22)

男 4,927人(-13)

女 4,839人(-9)

世帯数 3,030世帯(+5)

※()内は前月比